

事業計画の概要書（排出～中間処理過程）

（中間処理業申請用1）

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出工程
汚 泥 (建設系無機性に限る。) がれき類	土木・建設業者の解体現場
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	土木・建設及び生コン業者より
ばいじん・燃え殻・ 汚泥	焼却炉より排出される煤塵等

収集運搬方法	排出事業者による持ち込み 可 ・ (否)
	収集運搬業者 (名 称) (住 所) (電話番号)

産業廃棄物の種類	処分の方法	処理施設の概要	処分のための保管量
ガラスくず・コン クリートくず及び 陶磁器くず がれき類	破 碎	処理施設の種類 30-18キープジョー, 10-10キープパ外 処理能力 1日当たり 480t/日, 60t/h(8時間) 1日当たり 428.8t/日, 53.6t/h	造成平面図① 参照 面積: 352.44㎡ 容積: 535.20㎡
汚 泥 (無機性に限る。)	混練固化	処理施設の種類 オディクリーン α「OD・α-30」 処理能力 1日当たり 160㎡/日, 20㎡/h(8時間)	面積: 5m×5m=25㎡ 容積: 25㎡×1.5m= 37.5㎡
ばいじん・燃え殻	混練固化	処理施設の種類 オディクリーン α「OD・α-30」 処理能力 1日当たり 160㎡/日, 20㎡/h(8時間)	既存200tサイロ(250m3) 128tサイロ(160m3) 60tサイロ(75m3) 合計 485m3

事業計画の概要書（中間処理～最終処分過程）

(中間処理業申請用2)

中間処理で発生する産業廃棄物の種類	処分後の保管方法及び保管量
がれき類 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ばいじん・燃えがら・汚泥(固化後に破碎したもの) (再生クラッシャーラン・路盤材)	<div>屋外 ・ 屋内</div> <div>(面積) 737.59㎡ (容量) 1,324.99m3</div>
ばいじん・燃え殻・汚泥(混練固化後)	<div>屋外 ・ 屋内</div> <div>(面積) 810.76㎡ (容量) 1,968.30m3</div>
ばいじん・燃え殻・汚泥(混練固化直後)	<div>屋外 ・ 屋内</div> <div>(面積) 344.87㎡ (容量) 576. 93m3</div>

収集運搬方法	・自社（中間処理業者）による運搬 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 10px; margin: 0 10px;">おこなう</div> ・おこなわない
	・収集運搬業者に依頼(名 称) (住 所) (電話番号)
	・その他（有価販売等）

産業廃棄物の種類	処分(再生)方法
がれき類 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 再生クラッシャーラン	建設用資材として再利用
ばいじん・燃え殻・汚泥 (混練固化後に破碎したもの) 再生クラッシャーラン・路盤材	建設用資材として再利用
ばいじん・燃え殻・汚泥 (混練固化後のもの)	破碎

周辺環境への対策

1. 産業廃棄物の保管時

大気汚染 (粉じんを含む)	燃え殻はサイロに保管するために、大気汚染(粉じん)はありません。 破碎施設の保管は、散水により飛散を防止する。
水質汚濁 (地下浸透を含む)	含水率の高い廃棄物はなく、また雨水排水については、道路の側溝に排水します。
振 動	周辺環境に対し荷の積み降ろし等には充分配慮している
騒 音	周辺環境に対し荷の積み降ろし等には充分配慮している
悪 臭	なし

2. 産業廃棄物の処分時

大気汚染 (粉じんを含む)	混練固化施設は、閉ざされた設備内で行うか、集塵装置を設ける等の粉じん対策を講じます。 破碎施設は、散水により飛散を防止します。
水質汚濁 (地下浸透を含む)	含水率の高い廃棄物はない為、水質汚濁はありません。 水和反応及び自然蒸発・の為、排水はありません。
振 動	振動を発生する機器は、強固な基礎を設ける等の防振対策を講じている為、周辺隣家にとって生活や仕事に影響するような振動を与えることはありません。
騒 音	少しの音は発生することが予測されますが、周辺隣家にとって生活や仕事に影響するような騒音は与えることはないと予測しております。
悪 臭	腐敗し、悪臭を発生するような廃棄物を取り扱わない為、悪臭は発生しません